

1 アフターエピソード『雨の日、午後にて。』

2  
3 トラック1

4 ▼収録区切り①

5  
6 ○場所：二人の家(昼)

7 同棲後のヒロインと成一。休日の雨の日、家の中でまったりとしている。

8 窓を叩く雨の音(大きすぎないように)、ソファの軋み音

9  
10 DHM：③

11 成一「ふう……雨、やまないね。洗濯物、はやめに取り込んでおいてよかった。

12 折角の休日だけど……今日は外出せずに、ずーと家にいようか」

13  
14 ヒロイン『はい、今日は成一ちゃんとまったりします』

15  
16 成一「うん。まったりしよう……ふう、いいね。

17 雨の日は憂鬱になりやすいけど、キミと一緒にだと吹き飛ばっちゃうな」

18  
19 成一、ヒロインに近寄る。ソファの軋み音と衣擦れ音

20  
21 DHM：①上書き

22 成一「あはは、身体ぴたりとくっつく感じが、幸せな気分になるよね。

23 ーのままだ、くっつくてもいい？」

24  
25 ヒロイン『あー……ー』

26  
27 成一「うん……(穏やかな呼吸 15秒)」

28  
29 成一「落ち着いた雰囲気ですっだ、俺たちの結婚式……

30 ーでやるかとか、何をしたいとか……

31 ちよつと一緒に考えておっか」

32  
33 ヒロイン『あー……』

34  
35 成一「式場は……みんなを招待しやすい場所がいいと思うから、都心がいいかもね」

36  
37 ヒロイン『あー…… フリフリシャワーでやる場所がっしょー』

38

成「うん、いいね。フラワーシャワーか……きつとキミに似合っただろうね……」

成「……ただでさえ可愛いキミが、フラワーシャワーなんてしたら……」

みんなキミに夢中になっちゃわない？ それは嫌だなあ。

やっぱり俺ら二人で結婚式したほうが……」

驚くヒロイン、一度ハグ状態から離れる。衣擦れ音

ヒロイン『えっ！ ダメです。せつかく楽しみにしてくれている人もいるのに……』

DHM:①寄り

成「……わかった。キミが家族や友人想いなのは知ってるからね……」。

じゃあ、二人の結婚式はまた別でやることにしよう」

ヒロイン『二回もやりませんよー?』

成「え？ せつかくだから、二回やろうよ。

みんなに見られてないウエディングドレス……俺だけに見せて? (軽くキス)」

ヒロイン『……そんな顔しても、キスしてもダメですー!』

成「んー……そっか。キミに嫌われたくないから、諦めることにする。

考えてみれば、二回ちゃんとした挙式をあげようって思ったら、

その分スタッフにはかわいいキミの姿を見せることになるもんね」

ヒロイン『そついうことじゃ……というか、成一さんはやりたいことないんですか?』

成「……んー、俺がやりたいこと? そつだなあ……」

俺は、キミの可愛い姿が見れたら、正直それでいいかな。

特にこれがいって希望はないかな」

成「かわいいキミの写真をいっぱい撮れたら嬉しいとは思っけだね。

それに、キミが主役なんだから……キミのしたいこと、全部やるほうが優先だよ」

ヒロイン『じゃあ、高い結婚式場でもいいんですか……?』

成「もちろん。高い結婚式場でもいいよ。

キミが望むならなんでもあげる……」

77  
78 成一「あ、それか、海外で式をあげる？ それもいいかもね。

79 海外なら来れる人も、厳選……いや、お互いの家族だけ呼ぶこともできるし。  
80 キミの可愛い姿、たくさんの人に見られることもない……」  
81

82 成一「うん、うん……いいね、そうしようか。定番どころのハワイとか……」  
83

84 ヒロイン『成一さん！ 勝手に話進めちゃダメですよ！

85 高い結婚式場っていうのも例え話ですから……！ 普通の式でいいですー！』  
86

87 成一「……本当に？ 普通の式でいいの？

88 遠慮しなくていいの……」  
89

90 ヒロインが首を横に振る。衣擦れ音  
91

92 成一「そっか、分かった……（軽くキス 数回）  
93

94 ふふ……あー、俺がやりたいこと、あったかも。  
95 ウエディングドレス姿で、俺に気持ちよくされて

96 とろとろになつてるとこ、見てみたい」  
97

98 ヒロイン『えっ……！』  
99

100 ヒロイン、慌てて成一を見る。衣擦れ音  
101

101 成一「えっちなことなんて分からない、みたいな無垢な姿のキミを……  
102

103 ぐずぐずに溶かしてしまいたい……俺だけが見れるキミを見たい……」  
104

104 ヒロイン『っ……！』  
105

106 成一「（軽くキス）ふふ、あー、ダメって分かっているのに  
107

107 期待したような目しちゃって……もっとキスしたくなっちゃうな。  
108

108 してもいいよね？（軽くキス）」  
109

110 成一、ヒロインを抱きしめる成一。衣擦れ音  
111

112 ヒロイン『せ、成一さんっ……』  
113

114 成一「ん……どうしたの？ キス、するだけ……（軽くキス）」

115  
116 成「はあ、可愛い……結婚式って誓いのキス、するよね……。  
117 キミのこんなに可愛いキス顔……みんなに見られるのか……やだな……」  
118

119 成「ああ、結婚式をやめるなんて言わないから安心して。  
120 俺もキミのウエディングドレス、見たいからね」  
121

122 ヒロインの太ももを触る。肌擦れ音  
123

124 ヒロイン『んっ……』  
125

126 成「……ふふ、太もも触っただけなのに、気持ちよそそっ。  
127 もっと、深くまで触れたいな……」  
128

129 ヒロイン『成ーさん……結婚式の話は……！っ！』  
130

131 成「んー？（軽くキス）結婚式の話は、また後でしようか。  
132 キミに触れたい……我慢できない。  
133 それに、キミも俺に触れられて、望んでるように見えるけどな」  
134

135 ヒロイン『ん……ちが……もっっ……！』  
136

137 ヒロイン、成ーを思いつきり抱きしめる。衣擦れ音  
138

139 DHM:③寄り  
140

141 成「えっ……！っ！」  
142

142 ヒロイン『成ーちゃんがいらっいらっとするから、抱きしめて阻止しますっ』  
143

144 成「……ふふ、俺がいやらっいらっとなっとなっになっように抱きしめる……っっっ。  
145 じゃあこのまま、じゅわんぐわんぐっって抱きしめてほっっな」  
146

147 成「（落ち着いた呼吸音 1.5秒）」  
148

149 心音追加 継続  
150

151 ヒロイン『成ーさんの心音……気持ちいい……』  
152

153 成一「ん？俺の心音好き？ふふ、そっか……」  
154  
155 成一「(落ち着いた呼吸音 15秒)」  
156  
157 成一、ヒロインの背中をゆっくり撫でる。衣擦れ音  
158  
159 ヒロイン『ん……なんだか……』  
160  
161 成一「んー？俺の心音聞いて、眠くなってきたの？  
162 もっとお昼寝の時間だったかな……？」  
163  
164 成一、ヒロインの背中をゆっくり撫でる。衣擦れ音  
165  
166 成一「よしよし、眠いね。……可愛い。  
167 眠そうなのところの声も顔も、俺以外に見せたらダメだよ」  
168  
169 心音終了  
170 成一、ヒロインをお姫様抱っこする。衣擦れ音  
171  
172 DHM:①寄り  
173 成一「よいしょ、っと……  
174 ふふ、キミのことお姫様抱っこすると、本当のお姫様みたいだね」  
175  
176 成一「まあ、俺にとってキミがお姫様なのはずっとそうなんだけど……  
177 あーいや、お姫様でもあり、お嫁さんか」  
178  
179 成一「……ふふ、油断しきって可愛い……ベッドまで運んであげるね」  
180  
181 成一、ベッドまで移動する。成一の足音  
182  
183 成一「あーほんと、可愛い寝顔……(軽くキス)  
184 たくさん愛でてあげたい。愛してるだけじゃ本当に足りない……」  
185  
186 成一「俺と、ずっと一緒にいてくれてありがとう。  
187 結婚も……本当に嬉しいよ……(軽くキス)」  
188  
189 成一、ヒロインをベッドに寝かせる。衣擦れ音とベッドの軋み音  
190

191 成「……ダメだ。ムラムラしてきた」  
192

193 成「こんなに可愛いキミを前にして……我慢なんてできないな……  
194 少しだけ、いいよね……？」（軽くキス↓デュープキス 5秒）  
195

196 成「んっ……はぁ……」このまま襲ったら、キミに怒られるよね……。  
197 んー……キミに関して、我慢なんてできないから、しょうがない（軽くキス）  
198 キミが起きないように、ちゃんと愛してあげるからね……」  
199

200  
END